

UHF ANTENNAS  
UHF ch.13~52

## 取扱説明書

**U2SWLA20** 水平偏波用



強・中電界地域用

保証書付

**U2SWLA26** 水平偏波用



強・中・弱電界地域用

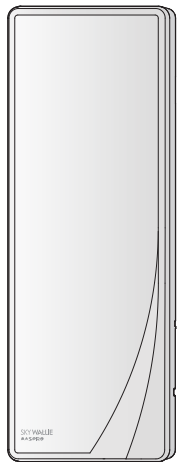
**U2SWLA20V** 垂直偏波用



強・中電界地域用

## SKY WALLIE

スカイウォーリー



### 75Ω用(F型端子)

#### 付属品

- 防水キャップ…………… 1個
- F型コネクター(5Cケーブル用)…………… 1個
- レンチ(10、11、17mm)…………… 1個
- 壁面取付金具…………… 1個
- マスト固定金具…………… 1個
- マスト固定ボルト…………… 2本

本機には、接続ケーブルを付属していません。設置場所に依り、必要な長さの75Ωケーブルをお求めください。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることが出来る場所に保管してください。

**DH** DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、一般社団法人 電子情報技術産業協会が審査・登録された一定以上の性能を有するUHF アンテナ、UHF帯域(ch13~ch52)に対応したブースタに付与されるシンボルマークです。

### 安全上のご注意 必ずお読みください

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

#### 絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

- 警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 絵表示の例

- △記号は、注意(警告を含む)が必要な内容があることを示しています。
- ⊘記号は、禁止の行為を示しています。
- 記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

### 警告

- アンテナや付属品を包装しているポリ袋は、お客様の手の届くところに置かないでください。頭からかぶると窒息し、死亡の原因となります。
- アンテナを煙突の近くなど高温になる場所に設置しないでください。火災の原因となります。
- 雷が鳴出したら、アンテナ・ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。

### 注意

- 雨降り・強風など、天候の悪い日の屋外での取付作業は非常に危険ですから、絶対にしないでください。また、夏の炎天下では、屋根が非常に熱くなっていますから注意してください。
- 腐食が進んで劣化したアンテナや取付金具を、そのまま使用しないでください。落下して、人や物などに損害や危害を与える原因となることがあります。アンテナや取付金具は、定期的に点検してください。
- 高所に取付ける場合、アンテナやアンテナ部品の落下などによって、人や物などに危害や損害を与えたりすることがないように、安全な場所を選んで設置してください。
- アンテナの取付工事を行うときは、落下防止のため、ネットを張ったり、アンテナや取付金具・工具などをひもで固定物に結んだりするなど、安全対策をしてから作業してください。
- アンテナの取付作業は、安全確保のため、必ず2人以上で行なってください。
- 高所での作業は非常に危険です。万全の安全対策をして取付けてください。また、屋根に登ると、思ったより高く感じられ、足場も不安定です。滑らないように、充分気をつけて作業してください。
- アンテナ・取付金具・マストなどに異常があったり、ビスやボルトなどがゆるんだりしていないか、定期的に点検してください。また、台風や大雪などの後は、安全を確認してから、アンテナ・取付金具・マストなどを必ず点検してください。アンテナが破損・変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、アンテナや取付金具などの部品が、破損、落下して、けがの原因や建造物に損害を与える原因となることがあります。
- 感電防止のため、アンテナは電線(電灯線・高圧線・電話線など)からできるだけ離れた場所に設置してください。
- テレビやレコーダーからの75Ωケーブルをアンテナへ接続するときは、テレビやレコーダーのACプラグをACコンセントから抜いて作業を行ってください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビによっては、感電の原因となることがあります。
- アンテナを取付けた状態で、強風時には大きな荷重がかかります。安全性と強度を充分確保できる壁面にしっかりと取付けてください。アンテナが落下して、けがの原因となることがあります。
- ボルト・木ねじの締付部分は、初期ゆるみがありますから、数か月後、再度、締直してください。
- アンテナを高所に設置する場合、技術と経験が必要ですから、必ず販売店にご相談ください。
- 壁面に取付ける場合、壁面の強度がわかる工務店に、必ずご相談ください。

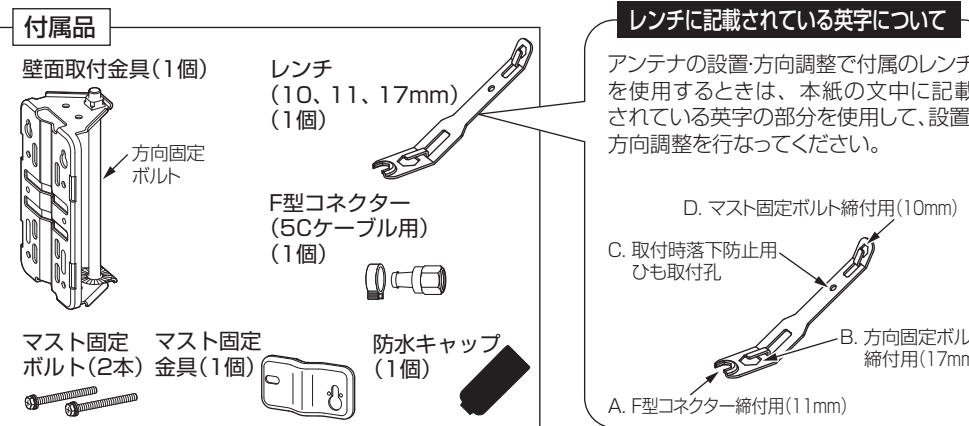
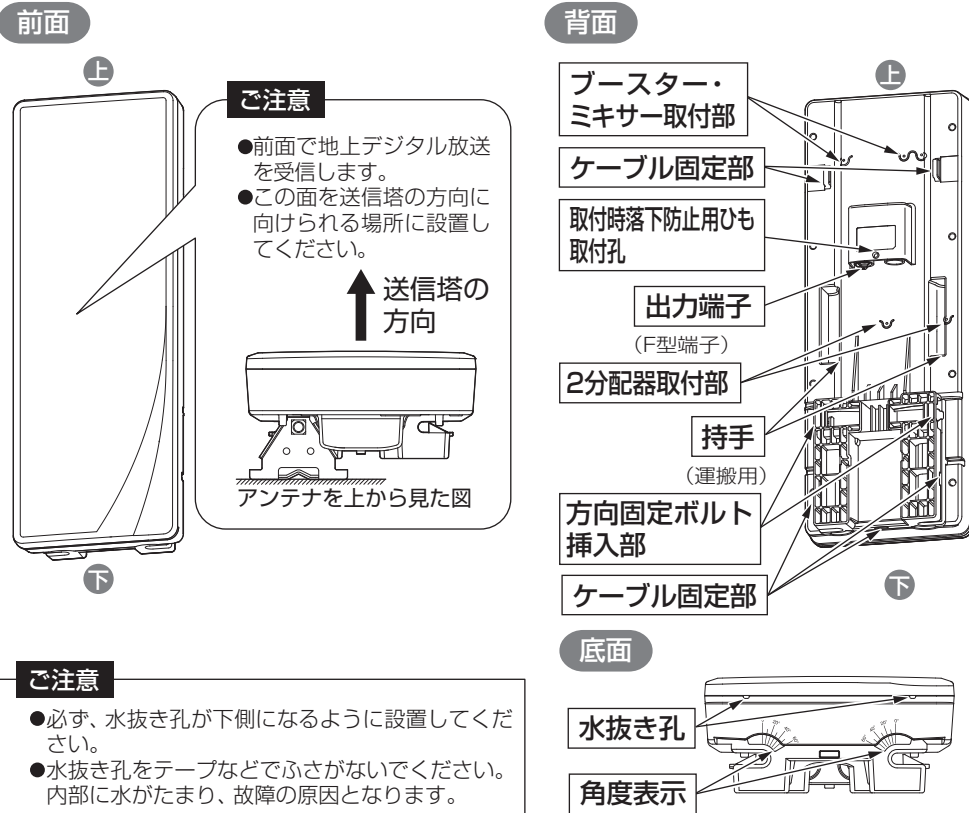
### 使用上のご注意

- アンテナに塗料やワックス、はっ水剤などを塗らないでください。アンテナの故障やアンテナの表面をいためる原因となります。
- アンテナの前面に市販の反射テープなど金属製のラベルを貼付けないでください。アンテナの性能が低下します。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは、アンテナの表面をいためますから、アンテナの掃除などには使用しないでください。

### 設置上のご注意

- アンテナを上下逆に取付けると、内部に雨水がたまり、故障の原因となります。アンテナの上下を確認して、正しく取付けてください。
- インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。方向固定ボルトの変形や破損の原因となります。
- 壁面に取付ける場合、一度取付けると壁面に孔が開きます。事前に設置したい場所で、地上デジタル放送の全チャンネルが受信できることをテレビまたはレベルチェッカーなどで確認してから、取付けてください。
- 地上デジタル放送は、直進性が強く、障害物によるレベル減衰が大きくなり受信できなくなるため、送信塔方向の見通しが良い、高い場所を選んでください。
- さらに、アンテナの高さを約2mの範囲で変えることにより、受信状態がより良くなる場合があります。

### 各部の名称



### アンテナを壁面に設置する

壁面に壁面取付金具を設置した後、アンテナ本体を壁面取付金具に組付けます。

#### 壁面設置に必要なもの

- 取付けには、⊕ドライバーと、付属のレンチが必要です。
- 取付ける壁面に合わせて、木ねじやコンクリートアンカーを別途ご用意ください。

#### 1. 設置する場所での受信確認 重要

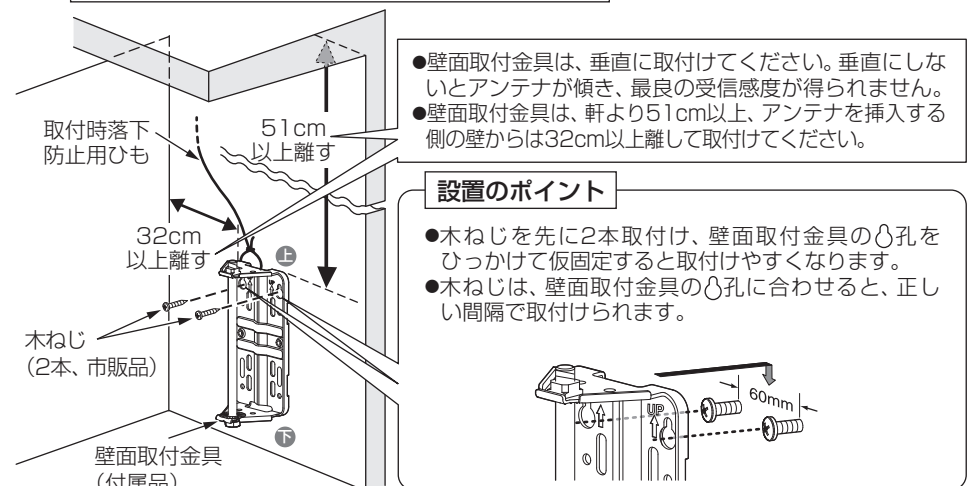
壁面に取付ける場合、一度取付けると壁面に孔が開きます。事前に設置したい場所で、地上デジタル放送の全チャンネルが受信できることをテレビまたはレベルチェッカーなどで確認してから、取付けてください。

#### 2. 壁面取付金具の仮固定

壁面取付金具の上下を確認(右図参照)し、市販の直径4.1~5.1mmの木ねじ(または呼び径4~5mmのタッピングビス)2本で壁面との垂直を確認して仮固定します。

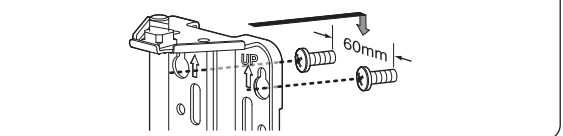
#### 使用する木ねじについて

木ねじは、取付強度が充分確保できる長さのものをお使いください。



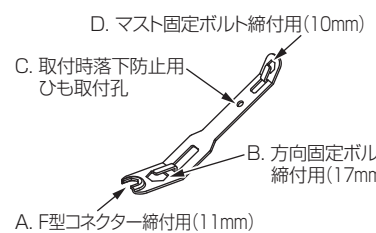
#### 設置のポイント

- 木ねじを先に2本取付け、壁面取付金具の凸孔をひっかけて仮固定すると取付けやすくなります。
- 木ねじは、壁面取付金具の凸孔に合わせて、正しい間隔で取付けられます。



#### レンチに記載されている英字について

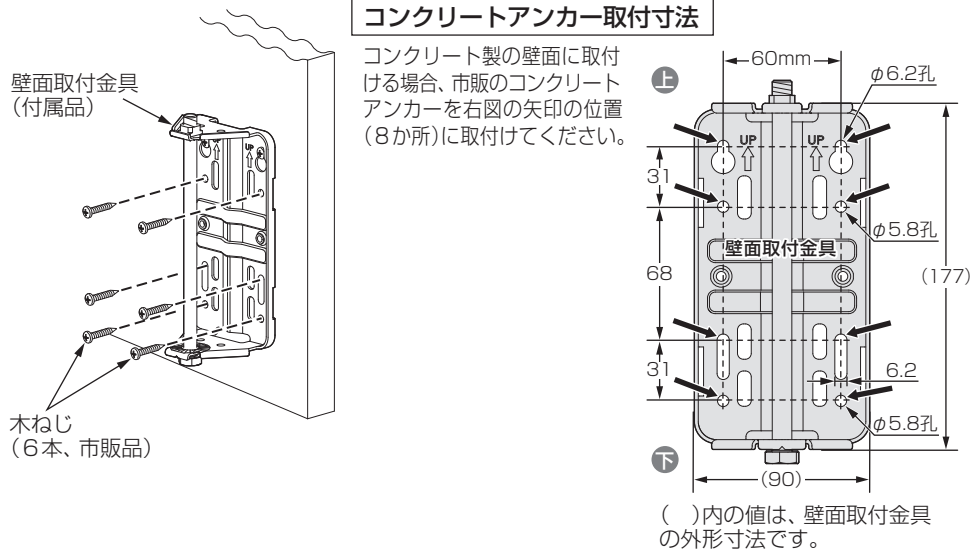
アンテナの設置・方向調整で付属のレンチを使用するときは、本紙の文中に記載されている英字の部分を使用して、設置・方向調整を行なってください。





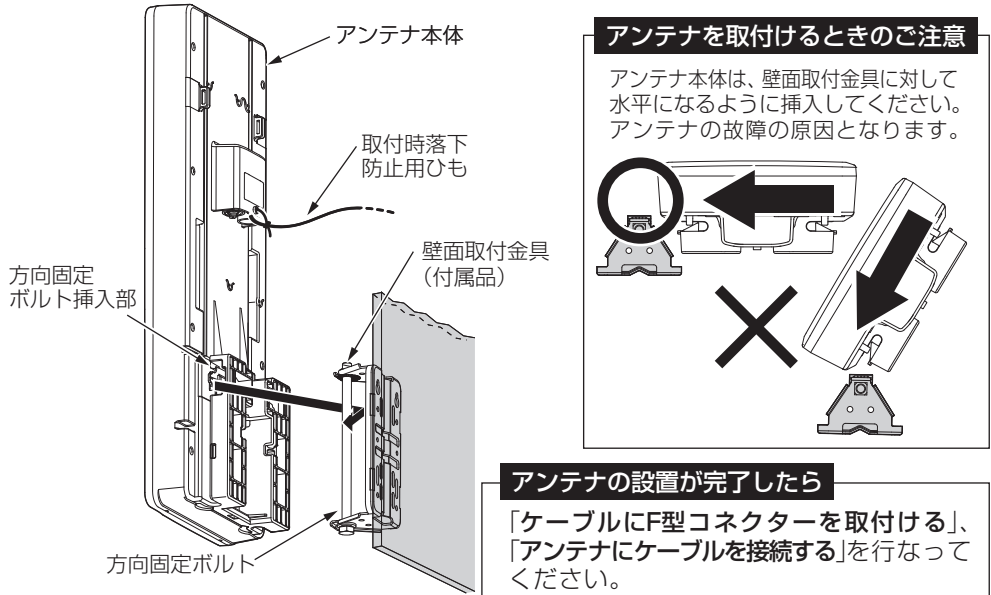
### 3. 壁面取付金具の取付け

市販の直径4.1～5.1mmの木ねじ(または呼び径4～5mmのタッピングビス)6本で壁面にしっかりと固定します。

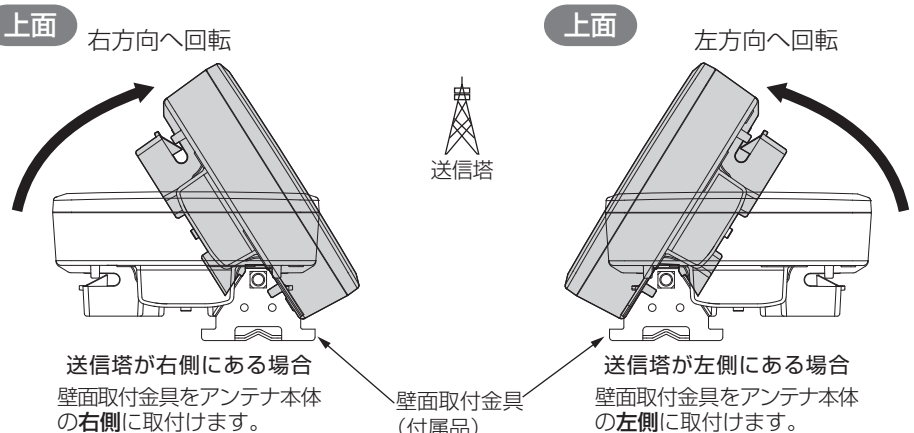


### 4. アンテナ本体の取付け

方向固定用ボルトにアンテナ本体の方向固定ボルト挿入部を、音がするまで挿入してください。



#### アンテナを取付ける位置について



## アンテナをベランダ・マストに設置する

#### ベランダ・マスト設置に必要なもの

取付けには、付属のレンチが必要です。

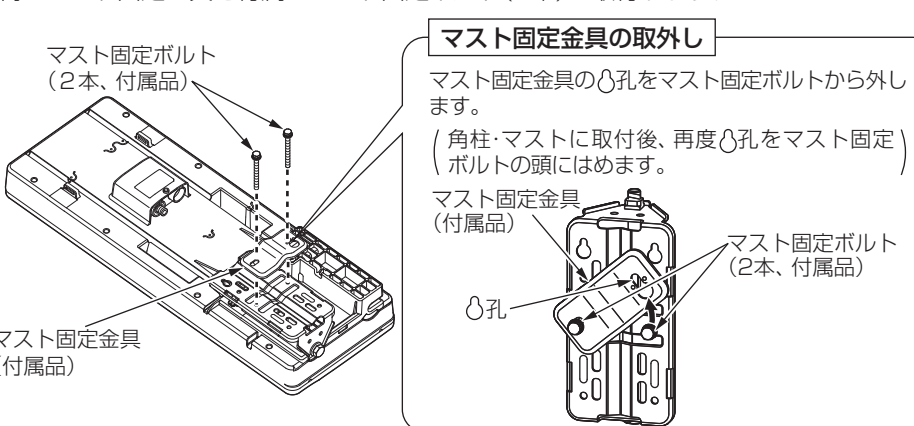
#### 1. 壁面取付金具をアンテナ本体に取付ける

アンテナ本体の方向固定ボルト挿入部に方向固定ボルトを、音がするまで挿入し、方向固定ボルトを付属のレンチ(B)で締付けます。[ベランダ(角柱)に取付けるときは、仮締めでかまいません]



#### 2. マスト固定金具を取付ける

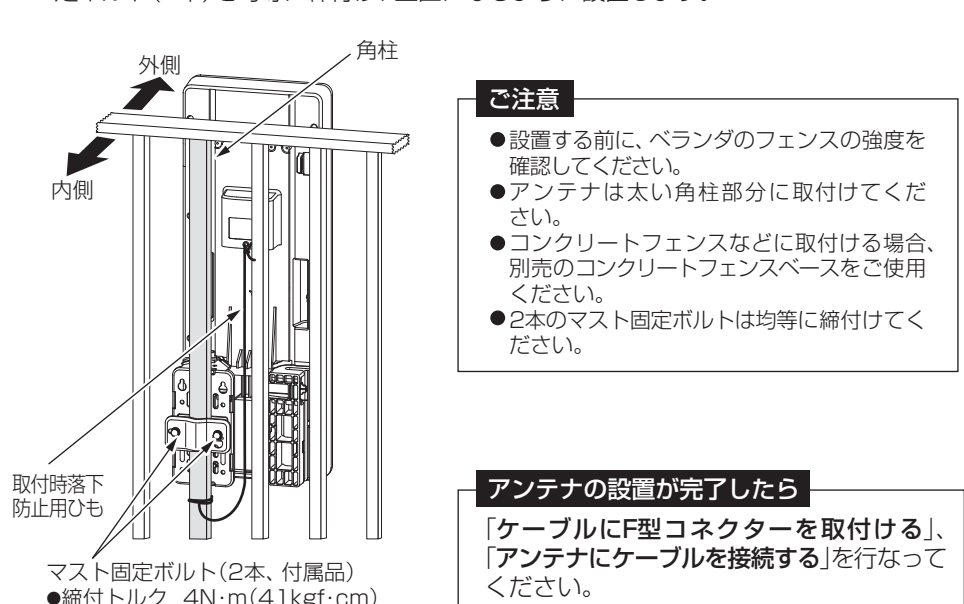
付属のマスト固定金具を付属のマスト固定ボルト(2本)で取付けます。



### 3. ベランダ・マストに取付ける

**ベランダに設置** 適合角柱寸法 25×25～45×45mm

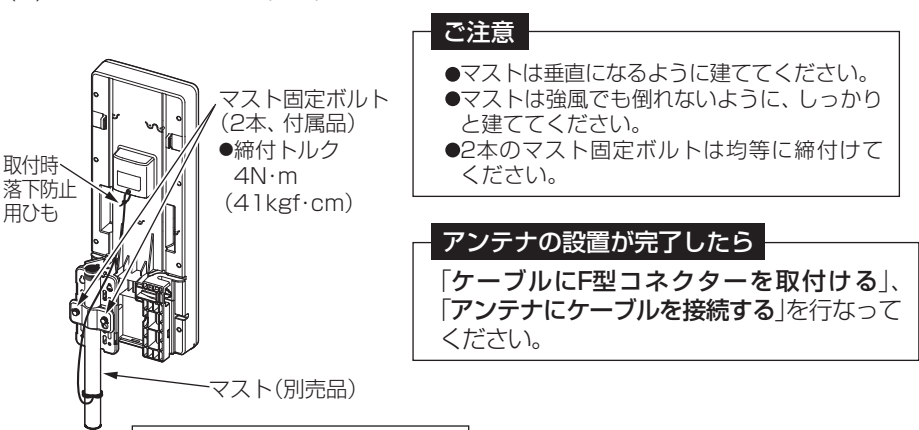
マスト固定金具のφ孔をマスト固定ボルトの頭にはめ、付属のレンチ(D)でマスト固定ボルト(2本)を均等に締付け、垂直になるように設置します。



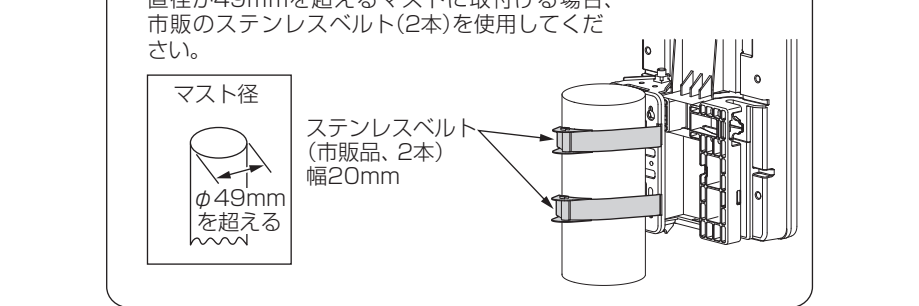
マスト固定ボルト(2本、付属品)  
●締付トルク 4N・m(41kgf・cm)

**マストに設置** 適合マスト径 φ22～49mm

マストを通して、マスト固定金具のφ孔をマスト固定ボルトの頭にはめ、付属のレンチ(D)でマスト固定ボルト(2本)をアンテナが左右に動く程度に仮締めします。



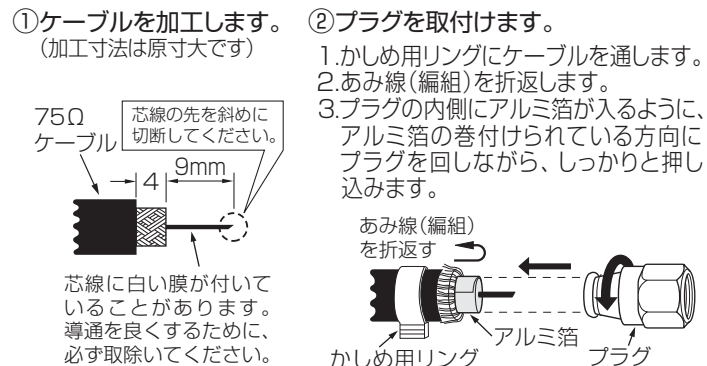
マスト固定ボルト(2本、付属品)  
●締付トルク 4N・m(41kgf・cm)



## ケーブルにF型コネクタを取付ける

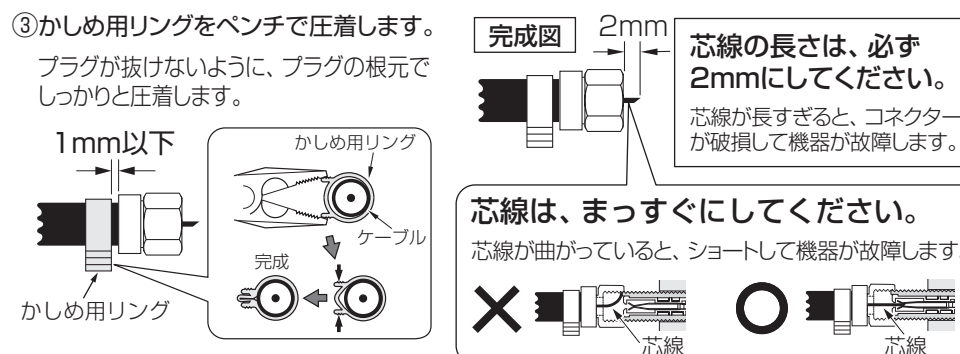
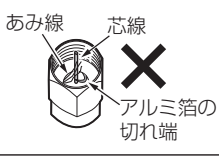
F型コネクタは、確実に取付けないと、受信不良の原因となります。説明をよく読んで取付けてください。

- 接触不良やショートを防ぐため、コネクタは正しい向きに取付けてください。
- 75Ωケーブルは5Cケーブルまたは4Cケーブルをお使いください。
- 付属のF型コネクタは5Cケーブル用です。4Cケーブルの場合、別売の4Cケーブル用F型コネクタをお使いください。



#### あみ線・アルミ箔のショートに注意

あみ線(編組)やアルミ箔の切れ端は、取除いてください。芯線に接触するとショート状態になり、テレビを見られなくなります。



## アンテナにケーブルを接続する

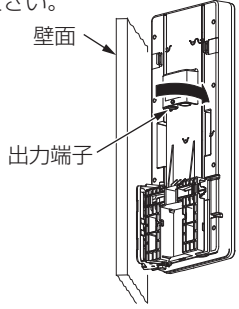
### ご注意

- 75Ωケーブルには、必ず、付属の防水キャップを通して、出力端子に取付けてください。
- 防水キャップを取付けしないと、雨水が浸入してショート状態になり、受信不良になります。

- F型コネクタを、アンテナの出力端子へ接続し、付属のレンチ(A)で締付け、付属の防水キャップを矢印の方向へ確実に押し込んでください。
- ケーブルは、コネクタや防水キャップに無理な力がかからないように配線してください。
- コネクタ取付け後でも防水キャップにケーブルを通せます。

### ケーブル接続のポイント

アンテナを横に向けるとケーブルが接続しやすくなります。「アンテナの方向を調整する」をご覧ください。



- 付属の防水キャップは、矢印の方向へ確実に押し込んでください。
- 防水キャップが曲がっていると、雨水がケーブル内に浸入してショート状態になり、受信不良になります。

F型コネクタ(付属品)  
●締付トルク2.4N・m(25kgf・cm)

### ご注意

防水キャップにビニルテープを巻付けて、ケーブルに固定しないでください。雨水がたまり、故障の原因となります。

### ケーブルの接続が完了したら

「アンテナの方向を調整する」を行なってください。

## アンテナの方向を調整する

### アンテナの方向調整に必要なもの

方向調整には、付属のレンチが必要です。

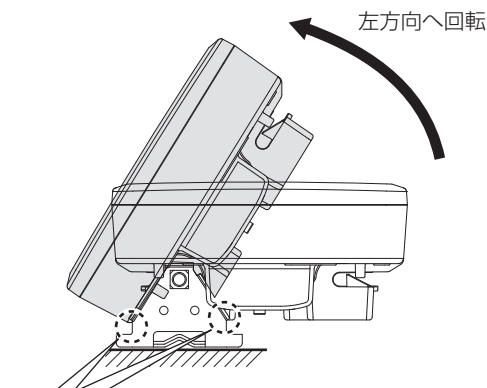
### 1. アンテナの方向を変える(壁面または角柱に設置した場合)

#### 方向の変え方

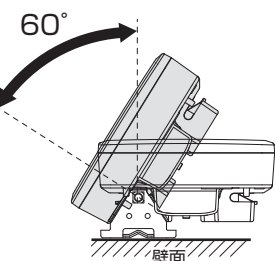
左方向へ向けるときの例(アンテナを上から見た図)

マスト(円柱)やサイドベースに取付けたときは、マスト固定ボルトをゆるめて方向を変えてください。(「4.アンテナを固定する」参照)

アンテナ本体を左方向へ回転させます。



### アンテナの可動範囲



壁面取付金具を右側へ取付ける場合も、可動範囲は60°です。

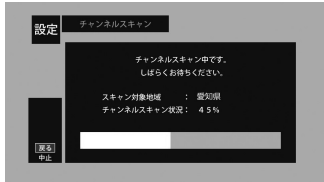
### 注意

アンテナを左右いっぱい回転させたとき、アンテナと壁面取付金具で手をはさまないように注意してください。けがの原因となる場合があります。

### 2. 受信チャンネルを設定する

- 初めて地上デジタル放送を受信する場合、アンテナを送信塔の方向におおよそ向けてから、テレビの「チャンネルスキャン(サーチ)」を行なって、受信チャンネルを設定します。
- チャンネルスキャン後、表示されないチャンネルがある場合、アンテナ方向調整をしながら、再度チャンネルスキャンをしてください。

#### 「チャンネルスキャン」の表示例



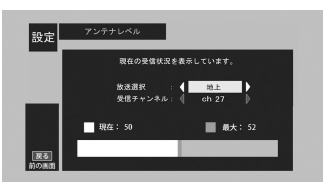
### ご注意

画面の表示は一例で、使用するテレビにより異なります。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

### 3. 方向調整をする

テレビの「受信レベル(アンテナレベル)」の値が最大になるように、アンテナを左右に回転させてアンテナの向きを調整してください。(全チャンネルが映ることを確認してください)

#### 「受信レベル」の表示例



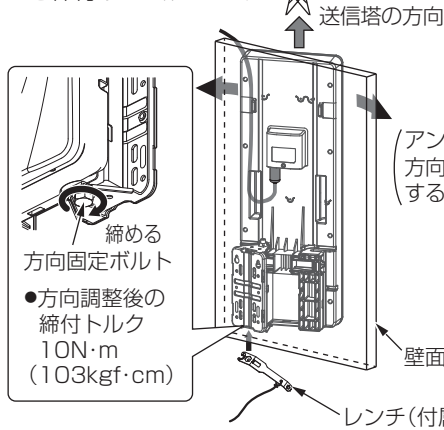
### ご注意

- 画面の表示は一例で、使用するテレビにより異なります。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。
- 正確な方向調整のために、別売のレベルチェッカーを使用されることをおすすめします。

## 4. アンテナを固定する

### 壁面設置

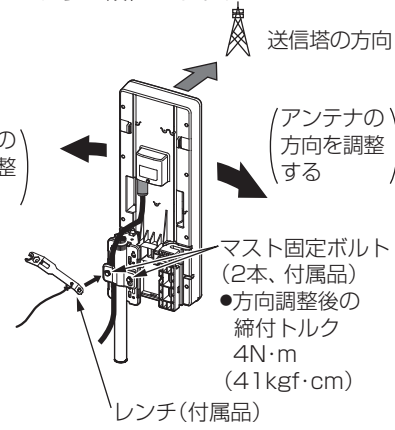
調整後、付属のレンチ(B)で方向固定ボルトを締付けてください。



方向固定ボルト  
●方向調整後の締付トルク  
10N・m  
(103kgf・cm)

### マスト設置

調整後、付属のレンチ(D)でマスト固定ボルト(2本)を均等に締付け、垂直になるように設置します。



マスト固定ボルト(2本、付属品)  
●方向調整後の締付トルク  
4N・m  
(41kgf・cm)

### ご注意

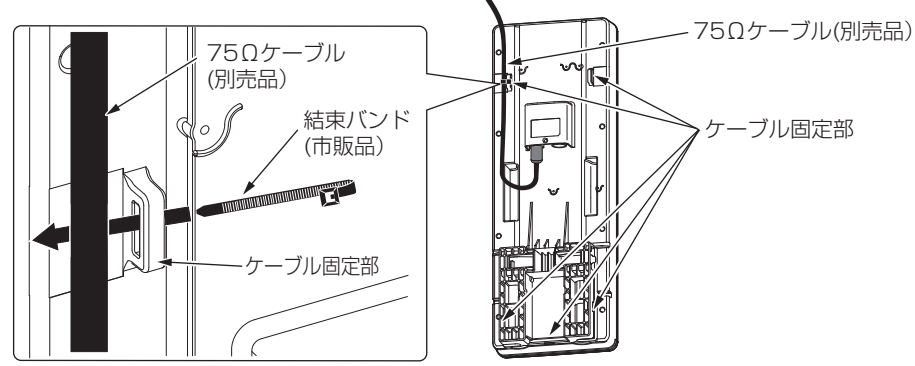
- 障害物があり、見通しの悪い場所などでは受信できないことがあります。
- 受信レベル(アンテナレベル)は、アンテナの高さでも変わります。高い場所に設置すると、受信レベルが高くなる場合があります。
- 設置後に建物などの環境変化により受信できなくなることがあります。

### ケーブルの引き回し例

アンテナ背面のケーブル固定部に市販の結束バンドを通し、ケーブルを固定することができます。

### ご注意

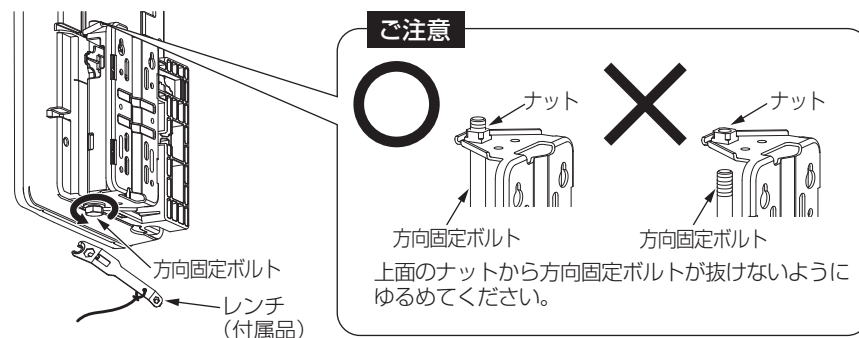
別売の75Ωケーブルを引き回す場合、ケーブルの曲げ半径を35mm以上にしてください。受信できなくなる場合があります。



## アンテナの取外し方

### 1. 方向固定ボルトをゆるめる

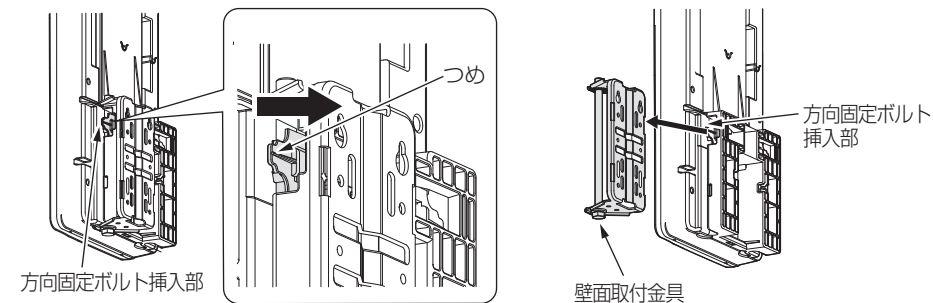
付属のレンチ(B)で方向固定ボルトをゆるめます。



### ご注意

方向固定ボルトをゆるめるときは、上側のナットから方向固定ボルトが抜けられないようにゆるめてください。

### 2. アンテナ本体の方向固定ボルト挿入部のつめを起こしながら、壁面取付金具を引き抜く



## ブースター・ミキサー・2分配器の取付方法

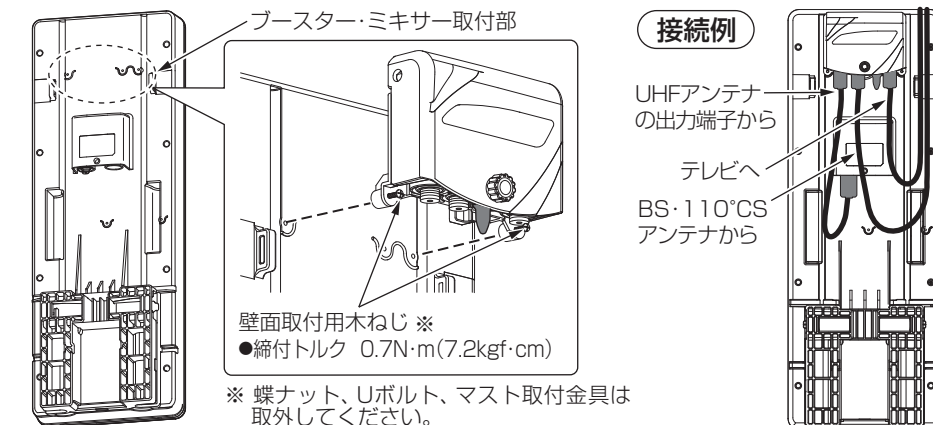
アンテナ背面に別売のブースターなどを取付けることで、スッキリと設置することができます。

### ブースター・ミキサーの取付方法

アンテナ背面のブースター・ミキサー取付部に、別売のブースター・ミキサーに付いている壁面取付用木ねじ(2本)をねじ込みます。

### ご注意

- アンテナを壁面・ベランダに取付ける前に、ブースター・ミキサーを取付けてください。
- ブースターのふたを開けるときは、アンテナを左右60°傾けてください。
- 当社製のブースター・ミキサー以外は取付けることができません。



### 接続例

UHFアンテナの出力端子から  
テレビへ  
BS・110°CSアンテナから

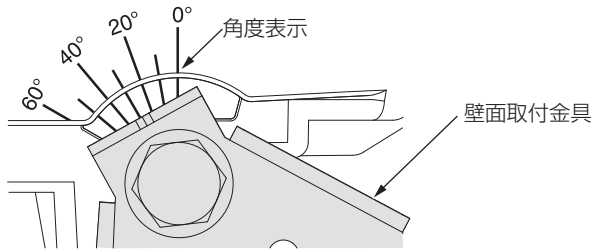
壁面取付用木ねじ ※  
●締付トルク 0.7N・m(7.2kgf・cm)

※ 蝶ナット、Uボルト、マスト取付金具は取外してください。



## アンテナ角度の再調整方法

ブースターの利得調整後など、アンテナの角度を再調整する場合、アンテナ本体の底面に記載されている角度表示を目安にしてください。

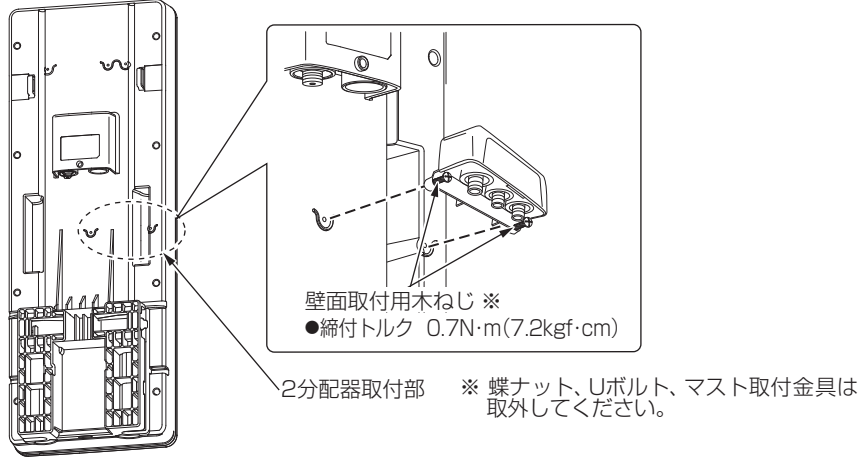


## 2分配器の取付方法

アンテナ背面の2分配器取付部に、別売の2分配器に付いている壁面取付用木ねじ(2本)をねじ込みます。また、ブースターまたはミキサーと、2分配器は同時に取付けることができます。

### ご注意

- アンテナを壁面・ベランダに取付ける前に、2分配器を取付けてください。
- 当社製の屋外用2分配器以外は取付けることができません。



## テレビがきれいに見られないときは

### 画像が出ない

原因	処置
コネクタの取付け・ケーブルの接続方法が間違っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コネクタが正しくケーブルに取付けられているか確認してください。「ケーブルにF型コネクタを取付ける」をご覧ください。</li> <li>●ケーブルが、出力端子に正しく接続されているか確認してください。「アンテナにケーブルを接続する」をご覧ください。</li> </ul>
信号が来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各ケーブルが、断線またはショートしていないか確認してください。「ケーブルにF型コネクタを取付ける」をご覧ください。</li> <li>●F型コネクタの芯線が短かったり、芯線にあみ線(編組)やアルミ箔が触れていないか確認してください。「ケーブルにF型コネクタを取付ける」をご覧ください。</li> </ul>
受信ができていない。	再度方向調整をしてください。「アンテナの方向を調整する」をご覧ください。

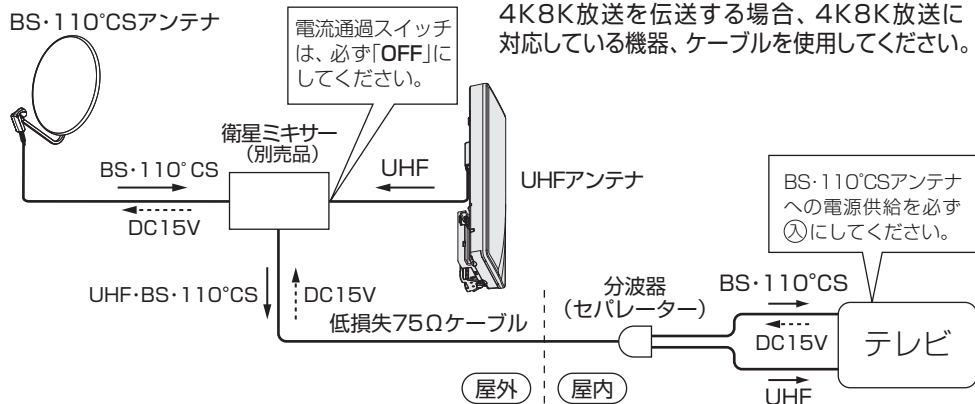
### 画像にモザイク状のノイズが出ている



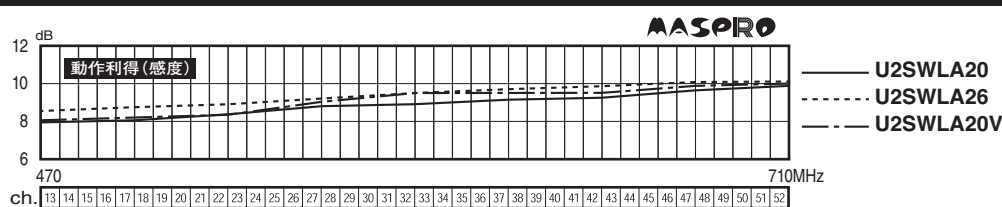
原因	処置
受信レベルが低い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●症状が消えるように、アンテナの方向を調整してください。「アンテナの方向を調整する」をご覧ください。</li> <li>●アンテナの設置場所や高さを変えて、送信塔からの電波が受信できるようにしてください。</li> </ul> <p>アンテナとテレビを短いケーブルで接続すると地上デジタル放送を見られるが、ケーブルを長くするとモザイク状のノイズが出る場合、別売のUHFラインブースターを本機の出力端子に接続してください。</p>

## 使用例

別売の衛星ミキサーを使用することにより、地上デジタル放送と、BS・110°CSアンテナで受信したBS・110°CSデジタル放送を1本のケーブルで引き込むことができます。



## 性能



## 規格表

### U2SWLA20

### 水平偏波用

### AASPRO

項目	規格
受信チャンネル	ch.13 ~ 52
動作利得(感度)	7.8 ~ 9.8dB(実力値)
VSWR	2.5以下
前後比	10 ~ 17dB
半値角度	72 ~ 79°
インピーダンス	75Ω(F型端子)
耐風速	50m/s
使用温度範囲	⊖20 ~ ⊕40°C
適合マスト径	マスト:φ22 ~ 49mm 角柱 :25×25 ~ 45×45mm
外観寸法 ※1	577(H)×210(W)×118(D)mm(壁面取付時) 577(H)×210(W)×175(D)mm(φ49mmマスト取付時) [アンテナ部:577(H)×210(W)×58(D)※2mm]
質量(重量)	約1.9kg ※3 アンテナ本体:約1.5kg

### U2SWLA26

### 水平偏波用

### AASPRO

項目	規格
受信チャンネル	ch.13 ~ 52
動作利得(感度)	8.4 ~ 10.2dB(実力値)
VSWR	2.5以下
前後比	12 ~ 18dB
半値角度	68 ~ 77°
インピーダンス	75Ω(F型端子)
耐風速	50m/s
使用温度範囲	⊖20 ~ ⊕40°C
適合マスト径	マスト:φ22 ~ 49mm 角柱 :25×25 ~ 45×45mm
外観寸法 ※1	620(H)×240(W)×118(D)mm(壁面取付時) 620(H)×240(W)×175(D)mm(φ49mmマスト取付時) [アンテナ部:620(H)×240(W)×58(D)※2mm]
質量(重量)	約2.2kg ※3 アンテナ本体:約1.8kg

### U2SWLA20V

### 垂直偏波用

### AASPRO

項目	規格
受信チャンネル	ch.13 ~ 52
動作利得(感度)	7.8 ~ 9.8dB(実力値)
VSWR	2.5以下
前後比	12 ~ 20dB
半値角度	72 ~ 90°
インピーダンス	75Ω(F型端子)
耐風速	50m/s
使用温度範囲	⊖20 ~ ⊕40°C
適合マスト径	マスト:φ22 ~ 49mm 角柱 :25×25 ~ 45×45mm
外観寸法 ※1	620(H)×240(W)×118(D)mm(壁面取付時) 620(H)×240(W)×175(D)mm(φ49mmマスト取付時) [アンテナ部:620(H)×240(W)×58(D)※2mm]
質量(重量)	約2.2kg ※3 アンテナ本体:約1.8kg

※1突起部を除く ※2コネクタ部、壁面取付金具固定部を除く ※3壁面取付金具を含む

## 保証書

### UHFアンテナ保証書

MODEL  U2SWLA20、 U2SWLA26、 U2SWLA20V (お買上げの製品の型式にチェックを入れてください。)

お客様ご住所			
TEL.	—		
★お客様お名前	—		
★保証期間(販売店記入欄)	—		
お買上げ日	—	—	—
★販売店名・住所(販売店記入欄)	—		
TEL.	—		

★印の欄にご記入のない場合、または、販売店の発行した、お買上げ日、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合、無効になります。本書は再発行いたしませんから、紛失しないよう大切に保管してください。

### 無料修理規定

- 「ご使用になる前に」や「取扱説明書」などの注意にしがった正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合、お買上げの販売店に本製品と本書をご持参、ご提示のうえ、修理をご依頼ください。無料修理させていただきます。
- 次のような場合、保証期間中でも有料修理になりますから、ご注意ください。
  - ・本書のご提示がない場合。
  - ・本書に、お客様お名前、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、または、販売店の発行した、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合。
  - ・本書の字句を書換えられた場合。
  - ・火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障および損傷。
  - ・ご使用上の誤りによる故障および損傷。
  - ・不当な修理や改造による故障および損傷。
  - ・お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
  - ・他の機器などにより誘発する故障および損傷。
  - ・一般家庭用以外(例えば車両・船舶への搭載など)に使用されたときの故障および損傷。
  - ・設置工事、施工の不備によって生じた故障および損傷。
- 本書は日本国内に限り有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

本書に明示した期間および条件で、無料修理をお約束します。保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にお問合わせください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理いたします。

＝マスプロ電工株式会社＝

本社 〒470-0194 (本社専用番号)愛知県日進市浅田町上納80  
営業部 TEL名古屋(052)802-2244

## ＝マスプロ電工＝

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80

技術相談 **0570-091119**

ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます  
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは **052-805-3366**  
受付時間 9～12時、13～17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

営業部 TEL名古屋(052)802-2244  
受付時間 9～17時45分(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット [www.maspro.co.jp](http://www.maspro.co.jp)

製品向上のため 仕様・外観は変更  
することがあります。